

# こちバス新聞

## “KIZUNA” が流儀



武市先生と龍馬さんに聞きました！

土佐おもてなし勤王党が  
結ぶ人の縁

★発行★  
コラパ〜

◆今後もこちバスツアーはどきどきワクワクする企画を皆さんにお届けします。◆情報提供ご希望の方は次のアドレスまでメールをください。こらパ〜からの各種イベント情報をお送りいたします。◆詳しくはイクス二階コラパ〜・cobo@Kochi-u.ac.jpまで。

二月十二日（日）。高知駅前でおもてなし中の「土佐おもてなし勤王党」に会ってきました！

ズバリ、土佐おもてなし勤王党のテーマは？

僕たちのテーマは”絆”です。それを伝えるために歌って踊っています。全国に武将隊はたくさんいますが、幕末を背景にしているのは自分たちだけ。甲冑や鎧が無い分自由に動けますが、だからこそ役になりきって歌や踊りなど新しい分野に挑戦していく必要があります。

ライブはいますか？

武市先生▼ライブはいません。それぞれの武将隊に独自のカラーがあり、それを磨いていだけ。“おもてなし”は競うものではないと思います。対抗心が前面に出ると地に足がつかなくなるので、自分たちに来ることをやっていだけいです。

やりがいはある時に感じますか？

龍馬さん▼フアンの人がつながりあって各地で応援してくれているのがうれしいですね。それとやはりステージを見て感動しましたなどの声を聞くことやりがいを感じます。



悔しいんです。程度の方で、言われてグラつくなら結局その程度の方で、悔しいんです。



どんな学生時代を過ごしたのですか？

龍馬さん▼部活中心の生活でした。武市先生▼やりたいことは何でもチャレンジしました。自分で決めたことをやり遂げたいんですよ。行動することで見える世界があるし、人に言われてグラつくなら結局その程度の方で、悔しいんです。

なぜ土佐おもてなし勤王党に入ろうと思ったのですか？  
武市先生▼震災支援など何か人の役に立つことが出来ないか考え、参加しました。武市半平太の役を頂いて「真面目」で「堅物」な所は自分と似ていると思います。

龍馬さん▼役者志望で高知で何か出来ることを考えていたんです。龍馬は個人の性格とは真逆な部分もあり最初は戸惑いました。変化のきっかけは名古屋遠征。こうなりたいと思えるロールモデルを見つけたこと、この遠征をきっかけに弥太郎が大きく変わったことに影響されました。役に入って安定してきたのは今年に入ってからです。